NIE実践報告

1．タイトル：**「読む新聞」から「参加する新聞」へ**

2．学校名

広島県神石郡神石高原町立二幸小学校

3．実践者名（代表者名）

岡田隆行

4．学年

第1･2･3･4･5･6学年(全学年/完全複式 低･中･高)

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・学級活動・教科外　全校児童18人

6．単元（本時の学習課題）名

総合においては「情報教育」~　自分の考えを発信しよう

7．目標(狙い)

毎日の新聞スクラップをもとに、自分の考えを書いてまとめる学習を行い、できた作品を新聞に投稿することを通じて書く力ならびに書く意欲を向上させる。

8．評価の視点

自分の書きたいテーマをはっきりさせ、取材をもとに表現豊かな作品が書けるようなったか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

朝の会（学級活動）でのスクラップ交流。中国新聞「みんなの新聞コンクール」へ向けての新聞作り（総合の時間を中心に3時間）。スクラップ新聞（総合7時間）詩や俳句、短歌や意見文作り（教科外5時間）。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

- **毎日の朝の会にスクラップ発表をプログラム化（低・中・高で発達段階に応じたスクラップ学習に取り組む）**
- **毎日のスクラップをもとに意見文の作成（教科外5時間）**
  ※家庭での自主的な取り組みも重視。詩や俳句、　短歌にもチャレンジ。
- **出来上がった自分の意見文を中国新聞をはじめ朝日、読売などの各紙の投稿欄に発信。掲載文の読み合わせを行う。**
- **中学年は生活新聞を作成して発行。高学年は毎日の新聞スクラップをもとにした「スクラップ新聞」の発行。（総合7時間と家庭学習）**
- **中国新聞「みんなの新聞コンクール」の各部門にチャレンジ（総合の時間を中心に3時間）**
- **詩や俳句、短歌などを作り、各紙の文芸コーナーに発信。掲載作品の読み合わせ、鑑賞を行う。（教科外・「言葉の時間」等）**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞に目を通す習慣が学年に応じた形で身に付いてきた。高学年を中心に取り組んだスクラップは次第に日常化し、朝の会などで交流すること通じて、社会の動きに興味や関心を持ち、自分の意見をしっかり発表できる子が増えてきた。また、それを書いてまとめ、新聞各紙に発信することが可能になった。

12．成果と課題

- **新聞スクラップと自分たちで新聞を作ること、合わせて一般紙へ自分の作品を投稿することが恒常化し、書くことへの興味や関心、意欲が全学年で飛躍的に高まった。**
- **中学年、高学年を中心に社会の動きへの関心も高まり、社会認識の向上につながっている。**
- **課題としては、低学年に限らず、新聞は難解であることは確か。より親しみがわくアプローチをどのようにしていくかが今後工夫していかねばならない点である。**
- **「書く力」の向上が図られた。**